

# 解説

## 附属幼稚園 佐藤寛子 教諭 中学生との交流により育む園児の「創造的思考力」

コンピテンシー育成開発研究所 特任准教授 下島泰子

幼小連携の例はあるが、本実践は附属中学校の家庭科（被服・保育）授業との連携による附属幼稚園児の学びという希少な実践である。

幼稚園教育要領では「幼児が様々な人やものとの関わりを通して、多様な体験をし、心身の調和のとれた発達をすること」が提唱されており、本実践で園児は複数の人やものに関わる機会があり、多様な体験が得られた。

身近でない他者である中学生との交流を通して「豊かな感情、好奇心、思考力、表現力の基礎」の育成が期待される。園児は中学生に染めてもらいたい毛糸の色を伝えようとするにより「言葉による伝え合い」の機会が得られる。中学生に染めてもらった毛糸であることを理解できることにより人ともものを大切にする「エシカル」な経験にも結び付く。本実践は毛糸の染色を介して中学生と交流し、5歳児は染色体験も含む一連の活動により、人と関わりたい、言葉で伝えたい、ものを作りたいという意欲を育む実践である。